おおさか創造千島財団　2027 年度公募助成

申請書（スペース助成）

■提出書類

①申請書（次ページ以降）[必須]
　word もしくは pdf 形式で、 A4 サイズ 2 ページに収めてください

②レイアウト図面 [必須]
　pdf 形式で A4 サイズ 2 ページ以内

③申請活動、申請者に関する資料等[任意]
　word もしくは pdf 形式で、 A4 サイズ 5 ページ以内
　※映像や音源は、個人サイトや共有サイトへアップロードし、その URL を記載してください

■提出先

grant@chishima-foundation.com
※メールの件名に、申請者氏名または団体名を入れてお送り下さい。

■提出期限

2027 年 1 月 11 日（月・祝） 23:59 まで

［申請書記入のポイント］

1.「活動のねらい」は最大のアピールポイント
選考の際には、活動の具体的な内容と共に、「何を目指しているのか」が重視されます。今なぜその活動を行うのか、それが申請者自身や社会にとってどのような意味を持つのかを客観的に考え、申請書の「活動のねらい」欄で効果的に主張しましょう。

2.「選考のポイント」をふまえて書き方を工夫
当財団ウェブサイトに記載されている「選考のポイント」を確認し、申請する活動が各ポイントに如何に当てはまるかがわかるように記入してください。

3.「助成金の使途」は、「助成金が交付されたら実現できること」を訴える
「助成金で赤字を補てんします」と書くよりも、例えば「助成金により新たな鑑賞者向けサービスが実現できる」など活動の公益性が上がることを主張したり、自らの活動をステップアップさせるための具体的な使い道を記入する方が、アピール力が増します。

一般財団法人　おおさか創造千島財団
2027 年度　助成申請書

（財団記入欄）
受付 No.
2 —

申請年月日（西暦）:　　年　　月　　日

申請カテゴリ					
		スペース助成			
申請団体・申請者の概要	フリガナ				設立年月
	団体名	※個人申請の場合は記入不要			年　月
	フリガナ				肩書・役職
	申請者・団体代表者　氏名				
	住所	〒			
	申請担当者　氏名 （申請者と異なる場合）	※代理申請の場合、団体申請で担当者が代表者と異なる場合は記入	役職		
	TEL		Mobile		
	E-mail	※結果の通知先　（grant@chishimatochi.info　からのメールが届くようにしてください）	Website	https://	

申請活動の概要				
	活動名	※確定していない場合は（仮）		
	活動実施日	年　月　日（　）～　年　月　日（　）		
最長 3 週間	会場利用希望期間 ※設営撤収含む	年　月　日（　）～　年　月　日（　）		
	利用エリア	a. 旧総合事務所棟　4 階 Drafting room　3 階 Free space b. 木津川沿いの 旧ドック（船渠）周辺		
	協力者 （共催、後援、協賛、協力等）	※確定していない会場には（予定）(交渉中）など		
	費目	内訳（算出根拠など詳細も記入のこと）		支出合計
支出	（記入例） 設営・制作費 広告宣伝費 謝金 交通費 記録費 消耗品・備品費 保険料　など	（記入例） 〇〇〇円(作品設営費〇〇円、舞台設営費〇〇〇円) 〇〇〇円(チラシ印刷費〇〇〇円、発送費〇〇円、WEB〇〇円) 〇〇〇円(ゲスト謝金〇〇円×〇人、スタッフ謝金〇〇×〇人) 〇〇〇円(東京―大阪〇〇円×〇人) 〇〇〇円(写真記録〇〇〇円、映像記録費〇〇円) 〇〇〇円(当日使用備品等) 〇〇〇円(イベント保険、傷害保険)		200 万円
	費目	内訳	支出−収入=ゼロ	収入合計
収入	（記入例） 入場料収入 助成金 助成金 協賛金 自己負担金	（記入例） 〇〇〇円×〇〇人=〇〇〇円（予定） 500,000 円(おおさか創造千島財団) 〇〇〇円(〇〇〇〇〇〇基金・申請予定/申請中) 〇〇〇円×〇口(交渉中) 〇〇〇円		200 万円

費目の設定は自由

申請活動の概要

申請する活動内容の詳細（創造活動を行う者の氏名等含む）

【1】具体的な実施内容
○○○会場では、○○名の○○○による○○○を開催する。
【2】作品名、演目名、各プログラム名およびその内容・あらすじのリード/コンセプト等
「○○○○○○○」(展示・公演・ワークショップ)
○○○
○○○
○○○
【3】実施期日：○○○年○月○日(○)○○：○○～○○：○○
【4】出演・参加作家、スタッフ、関係先
出演・参加作家：○○○○()、○○○○、○○○○、○○○○、○○○○、○○○○、○○○○(予定)
舞台：○○○、照明：○○○、音響：○○、会場構成○○　など
【5】関連企画等

申請する活動の目的、ねらい、特徴

選考の際には、活動の具体的内容と共に、「何を目指しているのか」「CCO の特徴が生かされるか」が重視されます。
今なぜその活動を行うのか、それが申請者自身や社会にとってどのような意味を持つのかを客観的に考え効果的に主張しましょう。

【1】本活動は、(誰)____________________が、(何)_________________________の
(活動形態：展示・公演・制作・プログラム・ワークショップ・リサーチ)________________________を行うもの？
【2】はじめての試みなのか、これまでの活動の継続・発展なのか?現状課題は？
【3】本活動の特徴は？ウリは何？オリジナリティが発揮される点は？
【4】どんなクリエイターがかかわる？アーティスト・出演者・ゲストの特徴は？
【5】本活動は何を作り出す？何が生まれる？何を解決する？
【6】(【5】からの流れで)本活動が目指すことは？自身にとって、業界にとって、社会にとってどのような意味や効果がある？
【7】この活動が将来的に目指していることは？寄与できることは？どのような可能性がある？

文中では、あいまいな表現はできるだけ避けましょう。
「数字」や「批評」で言い換えるとより具体的になります。
（例）
・新進気鋭の⇒「設立 2 年目で動員数 800 名を突破した」「第 X 回××賞最終候補にノミネートされた」
・斬新な方法で⇒「劇場の舞台上に客席を特設し」「これまで演劇の題材になったことがない××業界を描いた」

助成金の使途、当財団の助成を受けることにより何が実現可能になるかを、具体的に記入して下さい。

【1】主に何の費用に充当したいか？
【2】それにより実現すること
【3】社会的波及効果およびその裏付け

（例）
・企画制作費⇒他分野の専門家への依頼ができる⇒より高いクオリティの展示空間となり、これまでの制作作品を軸に、関東でのグループ展参加等の美術作家としてのステップアップとなる
・広報費⇒本活動チラシに加え、周遊マップを制作することができる⇒近隣地域のみならず、関西全域をはじめ、全国からの誘客が実現する
・出演料⇒一線で活躍するゲストを招聘できる⇒より専門に特化したプログラムが実現し、新たな○○○層の誘客が実現する

アンケート：当助成制度を知ったきっかけは何ですか？
1. 財団からのお知らせ（HP やメールニュース等）　2. SNS　3. 知人友人の紹介　4. 助成金・公募紹介サイト　5. その他（　　　　　　　　　　）